



TOKYO DENTAL COLLEGE ALUMNI ASSOCIATION

TDC Academia 2026



臨床セミナー	7月 5日 (日) 口腔外科セミナー 「明日から活かせる！日常臨床における小手術の実践（VR体験）とポイント」 ～確実な術式とトラブル回避のための臨床ノウハウ～
医療教養	8月30日 (日) ベーシックハンズオンセミナー 2日間コース 「すぐに役立つ臨床のコツ」 ～実践スキルの向上補綴、ペリオ、エンド、口腔外科、矯正編～
	9月 6日 (日)
50周年記念講演	10月25日 (日) 医療教養フォーラム 「歯科が支える子どもの未来」 ～将来を担う子どもたちに歯科界は何ができるのか～
	11月3日 (火 祝日) TDC卒後研修セミナー 50周年記念講演 これまで学んできたこと、これから伝えたいこと ～世代を超えて、語り合う歯科の現在と未来～

主催 東京歯科大学同窓会 共催 一般社団法人東京歯科大学同窓支援会
協力 東京歯科大学 日本歯科医師会生涯研修認定

ご挨拶



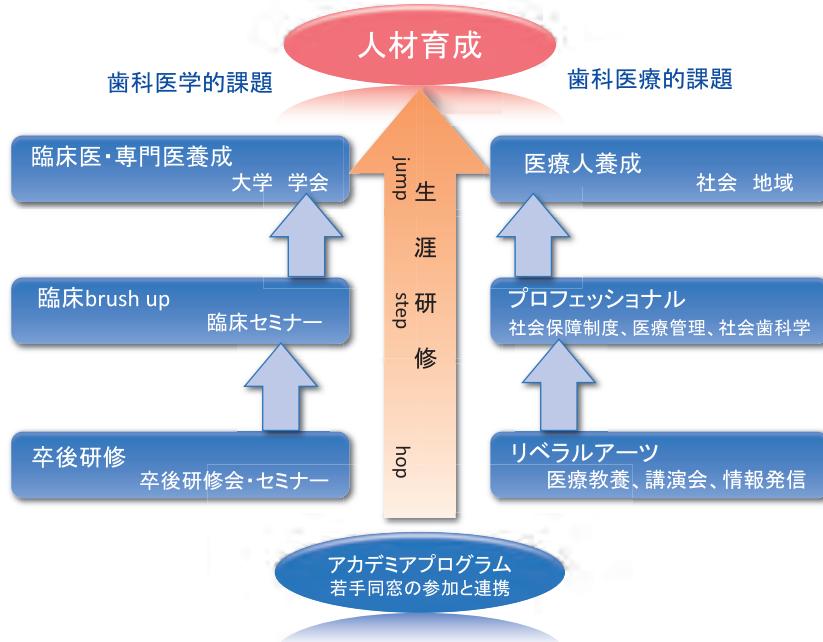
同窓会会長 富山 雅史

「TDCアカデミア」は2016年に同窓会120周年を記念し発足され、今年度で11年目を迎えました。アカデミアは「卒後研修」「臨床セミナー」「医療教養」を3本柱とした生涯研修の場であり、臨床テクニックの習得のみならず、医療関係者として必要な医療情報、社会的教養等のセミナーを通じて、同窓生が様々な分野で社会的に活躍できる素養を習得していただきたいと考えております。

大勢の先生方に参加していただけるように、臨床セミナーは、ハンズオンセミナーに限り実習を伴うために水道橋校舎での対面開催となります、他の臨床セミナー及び医療教養フォーラムはすべてWeb参加が可能なハイブリッド開催しております。また、「卒後研修」の勉強会は、症例検討の場として人気があり、夜間の開催ということで地方からも参加しやすくしております。

同窓会では、卒後若い先生のみならず、幅広い世代に対応するテーマを毎年企画しておりますので、本年度も多くの方に参加していただけることを希望しております。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していくという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立てください。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加してください。



参加無料 参加ご希望の方は sotsuken@tdc-alumni.jp まで

TDC卒後研修倶楽部

2026年9/14(月) 11/9(月) 19:00～

学術委員が毎年1つのテーマで症例等を発表する勉強会です。

色々な先生方の症例等を見て学んでいただき、日々の診療に役立つ実践的な気づきが得られればと思います。ぜひお気軽にご参加ください。

卒研症例検討会 偶数月第2月曜日 20:00～ *10月は祭日のため第3月曜日開催

若手歯科医師向けの研修会です。経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。参加者の症例を通じて意見交換することで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 20:00～

診療に必要な資料(X線写真や口腔内写真など)や情報の収集や選別の仕方など基礎的なことを中心にすめている勉強会です。症例を通して、「何が足りなかったか」「他にどんな情報があると有利か」などを意見交換しながらスキルアップを図っております。今まで勉強会に参加したことのない方でも参加しやすい内容となっております。

*注意事項

録画録音、進行を妨げる行為、チャットを使っての誹謗中傷などの迷惑行為は固く禁止させていただきます。

実際どんなことをしているの？

TDC卒後研修倶楽部・デンタルスタッフミーティング・卒研症例検討会

その悩み、みんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか！

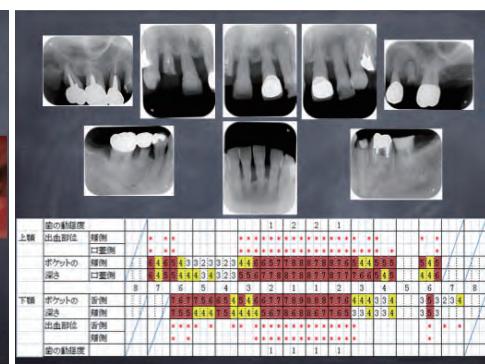
歯科治療には治療の方程式はありません…だからみんな悩むのです。内容こそ違いますが、経験年数に関わらず感じることではないでしょうか。だからこそ生涯研修が重要です。中でもプレゼンテーションとディスカッションは、そんな悩みを解決するとしても大切なツールと考えます。

あなたの悩みをみんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか。

— 実際どのようなことしているのか…ここでは実際に行われた症例を紹介します —

症例1 ～どのようにゴールまで導きますか～

- 必要な情報は
- 根拠のある診断とは
- 治療方針はどのように立案しますか
- 実際の治療方法は
- どのような経過を予測できますか
- そして経過は
- などなど…



症例2

～デンタルX線写真1枚からどのような情報を得られますか～

- デンタルX線写真には様々な情報が詰まっています。
- 撮影、読像が高いレベルでできるようになると、日々の臨床での診断能力は飛躍的に向上します。



(キリスト線)

対面・Webどちらでも参加できます

TDCアカデミア卒後研修ではハイブリッドでの勉強会を開催しています。

普通の勉強会と同じようにスライドおよび音声で発表を行い、質問もできます。

遠方の先生も多数参加していますので、お気軽にご参加ください。

参加をご希望の方は sotsuken@tdc-alumni.jp もしくは同窓会事務局までご連絡ください。

Web配信を受け取れる環境でのパソコンもしくはスマートフォン、タブレット等からメールを送って頂き、開催日当日にWeb勉強会に参加できるID・パスワード情報を送らせて頂きます。



事前配信いたします

一度3勉強会のどれかに参加すればメーリングリストに登録し、事前に次回の内容を知ることができます。皆様のご参加、同窓会学術委員一同お待ちしております。

口腔外科セミナー

東京歯科大学同窓会

「明日から活かせる！

日常臨床における小手術の実践（VR体験）とポイント

～確実な術式とトラブル回避のための臨床ノウハウ～

日常の歯科診療において遭遇する小手術は、口腔外科の基礎的スキルでありながら、術式の選択や術後管理において高い専門性が求められる場面も少なくありません。本セミナーでは、抜歯・歯根端手術・小帯切除・骨隆起除去など、臨床で頻繁に行われる小手術について、術式のポイントから、トラブルを回避する術中の工夫、術後管理に至るまでを解説します。

また、対面で参加される先生は医療教育用VR研修資材（VRゴーグル）をもちいて医療現場を再現した仮想体験をしていただきます。

明日からの診療にすぐに役立つ知識と技術を提供し、臨床力の向上を図ることを目的とします。

講 師：渡邊 章（口腔顎顔面外科学講座）

菅原 圭亮（口腔病態外科学講座）

インストラクター（口腔外科医局員）

日 時：7月5日(日) 10:00～16:30

場 所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学

水道橋校舎新館11階

Web参加 zoom ウェビナー

定 員：60名

受 講 料：東京歯科大学同窓生

（前年度同窓会費納入者） 2万5千円 齢科医師 3万円

コ・デンタルスタッフ 1万円



講演内容 1) 小手術の基礎知識と術式の選択基準

2) 代表的な小手術の実際（VR体験）

3) 術後管理とトラブルシューティング



※同窓会HP (<https://tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

口腔外科セミナー

ふりがな	出身校（ 大学）
ご氏名	（ 年卒）
ご連絡先 自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）	
住所	
TEL	FAX
必須 E-mail	
ご勤務先名	

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



渡邊 章

(わたなべ あきら)

【経歴】

- 2001年 3月 東京歯科大学卒業
 2001年 4月 東京歯科大学大学院歯学研究科(口腔外科学専攻)入学
 2002年 10月 長崎大学医歯薬学総合研究科原爆後障害医療研究施設
 分子医療部門変異遺伝子解析研究分野研究員
 2005年 3月 東京歯科大学大学院歯学研究科(口腔外科学専攻)修了
 2005年 4月 東京歯科大学口腔外科学講座病院助手
 埼玉小児医療センター形成外科シニアアレジデント
 2006年 4月 埼玉小児医療センター麻酔科シニアアレジデント
 2007年 11月 東京歯科大学口腔外科学講座レジデント
 2008年 4月 東京都立府中病院(現多摩総合医療センター)歯科口腔外科
 2009年 4月 東京歯科大学口腔外科学講座助教
 2015年 4月 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座講師
 2017年 9月 ドイツチュービンゲン大学留学
 2021年 10月 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座准教授
 2024年 4月 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座主任教授
 現在に至る。

【所属団体・認定資格】

- 日本口腔外科学会 代議員
 日本口蓋裂学会 理事
 日本顎変形症学会 理事
 Tokyo Smile Foundation Charitable Activity in Asia 理事
 International Bone Research Association (IBRA) Local Chairman
 AOCMF Delegate

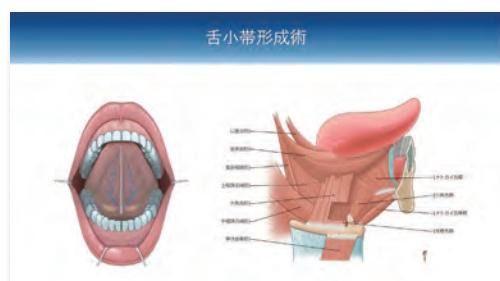
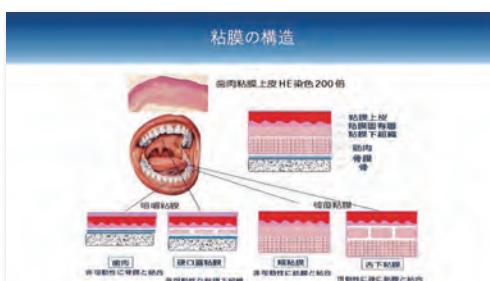
- 日本口腔外科学会 専門医・指導医
 日本口蓋裂学会 認定師・指導医
 日本顎変形症学会 認定医・指導医

【主な著書】

1. 口腔外科のレベルアップ&ヒント 5章 先天異常 [01] 口唇裂・口蓋裂の障害・縫発症・治療の流れ: 98-105
デンタルダイヤモンド社, 東京, 2019
2. 新口腔外科はじめましょう。 Chapter 5 必ず習得したい手術手技 1 切開法: 188-193
デンタルダイヤモンド社, 東京, 2020
3. 歯界展望別冊 Q & A 歯科のくすりがわかる本 2020
II 抗菌薬 Q4 骨膜炎で抗菌薬を投与しましたが、排膿が止まりません。抗菌薬を変更する必要がありますか?: 96-97
医歯薬出版株式会社, 東京, 2020
4. 別冊 the Quintessence 口腔外科 YEARBOOK 一般臨床家, 口腔外科ハンドマニュアル' 9. 頸裂部骨移植術／瘻孔閉鎖術: 112-120
クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2020
5. 標準口腔外科学第5版 第4章 先天異常および発育異常: 86-94 口唇裂・口蓋裂・顔面裂: 106-120
医学書院, 東京, 2024
6. 歯科のくすりがわかる本 第3章 臨床における抗菌薬
Q4 骨膜炎で抗菌薬を投与しましたが、排膿が止まりません。抗菌薬を変更する必要がありますか?: 64-65
【Guideline】感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2017年改定版): 78-83
医歯薬出版株式会社, 東京, 2024
7. the Quintessence 口腔外科 YEARBOOK 一般臨床家, 口腔外科ハンドマニュアル'25
Chapter1 口腔外科ビジュアルセミナー Section 1 ビギナー & ミドルのための必修ベーシックテクニック
初メス体験記師匠からの卒業試験: 91-92
クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2025

日常臨床において抜歯をはじめとする小手術でトラブルに遭遇することが多く、早急な対処やその後の診療室のコントロールなど多くのことを行わなければなりません。さらに重度の合併症を伴った際は、患者自身の日常生活に支障を与え訴訟へと発展していくケースも珍しくありません。このトラブルを回避するためには、解剖などの基礎知識から口腔外科の手技など多くを学ぶ必要があります。また、どの様な行いでトラブルになったかを理解する必要がありますが、書籍でも勉強会でもトラブルについて解説しているものは僅少です。本セミナーでは、小手術の基本的な術式やコツを提示し、術式の理解を深めて頂き、トラブル症例を通して小手術の危険予測を皆様と共に共有し、さらに、VR体験により新たな視点で小手術に必要な解剖学的構造物を再整理して頂ければと思います。皆様の明日からの小手術の一助になることを期待しております。
(Watanabe Akira)

(キリスト線)





【経歴】

2004年 東京歯科大学卒業
 2004年~2008年
 (独) 放射線医学総合研究所 (現 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構) 客員協力研究員
 2008年 東京歯科大学 大学院修了 (歯学博士)
 2009年 東京歯科大学 口腔外科学講座 助教
 2015年 東京歯科大学 口腔病態外科学講座 講師
 2017年~2019年
 東京歯科大学 短期大学 准教授 (兼任)
 2021年 東京歯科大学 口腔病態外科学講座 准教授 (現在)
 2021年8月~2022年7月
 ドイツ連邦共和国ミュンヘン工科大学 口腔顎顔面外科学講座 (Prof. K-D Wolff) に留学,
 Visiting Professor

菅原 圭亮

(すがはら けいすけ)

【所属団体・認定資格】

日本口腔外科学会 専門医・指導医
 國際口腔顎顔面外科学専門医 (FIBCSOMS)
 日本口腔科学会 認定医・指導医

日本顎変形症学会 認定医・指導医
 ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター

【主な著書】

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 「第5版標準口腔外科学」 | 2024年(著分担) |
| 「「なにか変?」に気づけるようになる口腔粘膜疾患識別ガイド」 | 2021年(著分担) |
| 「新・口腔外科はじめましょう」 | 2020年(著分担) |
| 「口腔外科のレベルアップ&ヒント」 | 2019年(著分担) |
| 「オーラルバイオロジー - 病態から学ぶ歯科基礎医学 -」 | 2018年(著分担) |

日常臨床で頻繁に行われる小手術『抜歯(単純抜歯・埋伏歯抜歯)・歯根端切除術・骨隆起形成術・粘液囊胞摘出術』を安全に実施するには、正確な診断、確実な術式と術中の的確な判断が求められます。本講演では、明日から実践できる術式の基本をステップごとに解説し、関連する解剖、難易度の把握、器具の選択、各手技のコツ、止血・感染対策など臨床の要点を症例とともに紹介します。一般的な講義形式に加えてVRゴーグルを用いたメディカルメタバースでの解剖学修と360度カメラを用いた手術学修コンテンツを体験していただきます。さらに、術後の疼痛、腫脹、感染、創哆開などのトラブルに対する予防法と対処法を具体的に解説し、患者満足度を高める術後管理の実践ポイントにも触れます。本セミナーが、“処置を行って良い症例なのかの判断”、“トラブルの“起きない手術”と起きても“慌てない対応”的習得を目指し、確実で安全な小手術を施行するきっかけになれば幸いです。

(Sugawara Keishuke)

(キリトリ線)

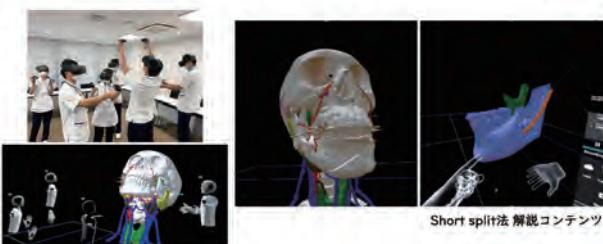
Extended Reality:XR

現実世界において実際に存在しないものを表現・体験できる技術

Extended Reality



メディカルメタバース(仮想空間)による臨床解剖学修



複数人による仮想空間内の同時学修

360度カメラを用いた口腔顎顔面外科教育システム



360度カメラを用いた口腔顎顔面外科教育システム



メモ

(キリトリ線)

ベーシックハンズオンセミナー 2日間コース 東京歯科大学同窓会

「すぐに役立つ臨床のコツ」

～実践スキルの向上補綴、ペリオ、エンド、口腔外科、矯正編～

臨床研修医や研修を終えて間もない先生は、得られた知識や技術を駆使して日々診療に取り組んでいらっしゃることだと思いますが、手技に対する不安もあるのではないかでしょうか。本セミナーは実践スキルの向上を目指し、支台歯形成、テンポラリークラウンの製作、髓室開拓・根管形成、歯肉縁下になった歯根の挺出法(MTM)さらに豚顎を用いた歯肉剥離(フラップ手術)と縫合、抜歯を分野ごとにブースに分け少人数の実習を通して学べます。本セミナーを受講して、不安を自信に変えていただきたいと思います。毎年大好評のセミナーです。

今年も2日と実習時間を多く設けており、明日からの臨床にすぐに役立つセミナーです。

講 師：学術委員(東京歯科大学同窓会)

日 時：8月30日(日) 10:00～16:00

9月 6 日(日) 10:00～16:00

場 所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11階

定 員：60名

受 講 料：東京歯科大学同窓生 (卒後5年目以下) 3万円(器材費2万5千円込み)

東京歯科大学同窓生 (前年度同窓会費納入者) 5万円(器材費2万5千円込み)

東京歯科大学大学院生 (卒後5年目以下の他大学出身者) 3万円(器材費2万5千円込み)

東京歯科大学臨床研修歯科医(他大学卒業) 4万円(器材費2万5千円込み)

その他 7万円(器材費2万5千円込み)

(キリストリ線)

実習内容：1日目 ペリオ フラップ手術(切開、剥離、縫合) ブタ顎使用

口腔外科 抜歯・縫合 ブタ顎使用

矯正(MTM) エクストルージョン

エンド 髓室開拓・根管形成(ステンレスファイルとNi-Tiファイル)

2日目 補綴1 支台歯形成

補綴2 テンポラリークラウンの製作

*本セミナーではテキストをWeb上からダウンロードしていただきます。個人のE-mailアドレスの登録が必須となりますので必ずご記入ください。

当日はダウンロード済みのPC、タブレット等をお持ちください。

*実習に際し、ご準備いただく器材がございます。(同窓会からの器材の貸し出しはございません。)

尚、実習内容は都合により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

※同窓会HP (<https://tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ベーシックハンズオンセミナー

ふりがな	出身校 (大学) (年卒)
ご 氏 名	東京歯科大学大学院生 所属講座名 ()	
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住 所	〒	
TEL	FAX	
必須	E-mail	
ご勤務先名(研修先)		

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。

実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にしていただきたいと思います。



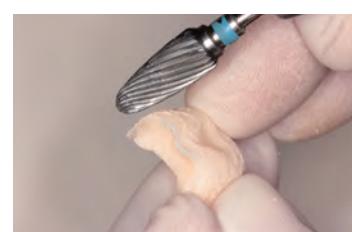
支台歯形成

効率よく
支台歯形成できますか？



テンポラリーカラウンの製作

短時間で製作するコツ



フラップ手術

切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？
切開線の設定とデブライドメントのコツ
(ブタ顎骨実習)



抜歯・縫合

抜歯・縫合の基本を取り入れる
(ブタ顎骨実習)



MTM

エクストルージョン
装置の実際、何に気を付ければいいの？
石膏模型実習



髓室開拓・根管拡大

正確な根管治療のための髓室開拓
根管拡大のコツ



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。

医療教養フォーラム

東京歯科大学同窓会

「歯科が支える子どもの未来」 ～将来を担う子どもたちに歯科界は何ができるのか～

現代の子どもたちの口腔環境の課題は単なる「むし歯予防」だけではなく、ネグレクトや不登校、地域や家庭環境による健康格差、さらには口腔機能の発達と全身の健康との関連など複雑な課題に直面しています。

本フォーラムでは、「今、子どもたちに何が起きているのか」を共有し、こども家庭庁や日本歯科医師会、日本学校歯科医会の活動を知り、行政やかかりつけ歯科医、学校歯科医など、さまざまな立場から子どもと保護者にどのような支援ができるのかを共に学びます。未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるために、歯科界がどのように携わるかを多角的に考え、行動につなげる場とします。

歯科医師や歯科衛生士のみならず、子どもにかかわるすべての方々のご参加お待ちしております。

講 師：石丸 文至 先生（こども家庭庁成育局母子保健課推進官）

山本 秀樹 先生（日本歯科医師会常務理事 東京都開業）

夫馬 吉啓 先生（日本学校歯科医会理事 愛知県開業）



日 時：10月25日(日) 10:00～13:30

場 所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学 水道橋校舎新館11階

Web参加 zoomウェビナー



定 員：60名

受 講 料：無料

(キリトリ線)

講演内容：1) 今、子どもに何が起きているのか

- 2) 日本歯科医師会の取り組み
- 3) 日本学校歯科医会の取り組み
- 4) ディスカッション「今、子どもに何が起きているか課題と対策」

※同窓会HP (<https://tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

医療教養フォーラム 参加方法		<input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加	チェックをお入れください
ふりがな		出身校 (大学)
ご 氏 名		(年卒)
ご 連 絡 先	自宅 ・ 勤務先 (どちらかに○をしてください)		
住 所	〒		
TEL		FAX	
必須	E-mail		
ご勤務先名			

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



石丸 文至
(いしまる ぶんじ)

母子保健において、歯科の健康管理は非常に重要である。母子保健法に基づき、市町村は1歳6か月児および3歳児に対して健康診査を行う義務があり、乳幼児歯科健診を実施することが求められている。その他の乳幼児健診は任意で実施することとされているが、最近では、5歳児健診が推進されている。その目的は、小児の発達についての評価等が主であるが、発達に課題のある児については、歯科分野においても様々な課題がある場合がある。

また、日常の歯科診療においても、発達に課題があることにより、口腔ケアに課題がある場合など様々な課題があることも考えられ、歯科・小児科医・自治体など各機関・各職種で連携して対応を行う必要がある。

5歳児健診は、地域で各機関等が連携して、取組をすすめていただくことが必要であり、各地域で、各機関等が、それぞれの役割分担を議論し、自治体にしっかりバックアップすることが重要である。

(Ishimaru Bunji)

乳幼児健診査（1歳6か月児健診・3歳児健診）について	
※平成17年度に一般財源化（地方交付税措置）	
○ 市町村は、1歳6か月児及び3歳児に対して、健診査を行う義務があるが、その他の乳幼児に対しても、必要に応じ、健診査を実施し、また、健診査を受けるよう勧奨しなければならない。	
○ 検査（子供医療法）	
第12条 市町村は、児童一人当たりに対し、厚生労働省令の定めるところにより、健診査を実行しなければならない。 1. 1歳6か月児に対する健診査の実施の義務 2. 3歳児に対する健診査の実施の義務	
第13条 厚生省の認定診査のほか、市町村は、必要に応じ、狂犬病又は乳児若しくは幼児に対して、疾患検査を行い、又は健診査を実施することができる（但し狂犬病にかかるところ）。	
1歳6か月児健診	3歳児健診
C. 健診内容	D. 健診内容
① 身体検査（耳鼻咽喉科） ② 末梢血検査 ③ 症状調査（既往歴の有無及び異常の有無） ④ 運動の発達の検査 ⑤ 妊婦に対する産前検査及び産後の検査	① 身体検査（耳鼻咽喉科） ② 美容検査 ③ 末梢血検査（乳児の既往及び異常の有無） ④ 度量の成長の検査 ⑤ 前の健診より異常の有無 ⑥ 耳、鼻及び喉頭の既往及び異常の有無 ⑦ 既往歴の調査（出生時から現在までのもの） ⑧ 産後検査（産後検査） ⑨ 育児に関する指導 ⑩ その他のお困り事等
C. 受診人数（受診率） 819,139人（96.3%）	D. 受診人数（受診率） 875,482人（95.7%）
健診内容ごと、厚生労働省令（第一則健診実行規則）で示す秋葉原E、 実診人件数、受診率：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）による。	

「1か月児」と「5歳児」健康診査支援事業		成年用 母子保健室 令和5年度概算予算：15億円
1 事業の目的		
<p>① 乳幼児健診窓口において、母子保健室より「1ヵ月児から5歳児」の健診結果を実施する際の窓口負担を軽減する。 ② 1ヵ月児から5歳児までの健診料金についても、母子保健室が負担する状況でございました。このことから、新たに「1ヵ月児」と「5歳児」に対する健診料金の費用を負担する上に、出産後から5歳未満までの間に亘り、健診検査の実施体制を整備することを目的とします。</p> <p>※ 本事業は厚生労働省に提出し、必要な技術的支援を行うことにより、全国の自治体で「1ヵ月児」と「5歳児」の健診検査の実施を目指す。</p>		
2 事業の概要		
<p>◆ 対象者</p> <p>① 1ヵ月児健診受付 及び ② 5歳児の検査</p> <p>◆ 内 容</p> <p>定期的に1ヵ月以上お住まいの方を対象に、健診検査内容に係る費用について財政を行つ。</p> <p>① 1ヵ月児健診</p> <p>実施方法：産科医院にて個別検診</p> <p>健診内容：身体发育状況、栄養状態、母体の両親の早期発見、ごくとの健診結果と育児の相談等</p> <p>② 5歳児の検査</p> <p>実施方法：看護所にて集中検査</p> <p>健診内容：心臓の異常や肝脾充血（肝臓拡張の状況、高血圧の有無等）、骨盤上問題等の障害、必需に応じて事後指導等</p>		
◆ 関連事業		
<p>① 1ヵ月児健診の実施方法について、厚生労働省は実施機関、運営方法等について、健診検査の結果の情報利用法などにより実施支援の実施基準を定めています。また、健診検査の実施方法等の技術及び実施規則に沿って実施するこでありますことを想い、ご自身センターなどの実施規則とも併せて、必要な実施の整備を行つことを。</p> <p>② 2-3歳児の定期健診実施方法について、国民健康保険法、医療法等の「1歳未満の児童の定期健診」と「2歳未満の児童について、既存用までに適切に実施につながることをよし、医療用とても適切なが、必要な支度体制の整備を行つことを。</p>		
3 健康主導事業		
<p>◆ 家庭主婦：市町村</p> <p>◆ 諸 站：国1/2、市町村1/2</p>		
4 搞動主導事業		
<p>◆ 授乳指導室：① 4,000円／人（原則として個人健診）</p> <p>② 3,000円／人（原則として個人健診）</p>		

5歳児健診について	「母子保健費対策組合支援事業(令和6年度補正予算分)の実施について(令和6年1月28日付け)」(家庭戸・家賃費負担通知)より抜粋
目的	
幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期であり、保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期である5歳児に対して健診検査を行い、こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他の発展に関する指導を行い、ちって幼児の健康の保持及び端進を図ることを目的とする。	
実施担当者	
十分な経験を有し、幼児の保健医療に習熟した医師、保健師、看護専門士、心理相談を担当する者等により実施すること。	
対象者	
一般健診検査の対象者は、実施年度に満5歳になる幼児とする。標準的には、4歳6か月から5歳6か月となる幼児を対象とする。	
項目等	
一般健診検査の項目は以下のとおりとする。	
① 身体発育状況	
② 瞳孔状態	
③ 脊椎発達の状況	
④ 言語骨骼の有無	
⑤ 育児上問題となる事項(生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事、等等)	
⑥ その他毎回疾患及び異常の有無	



【経歴】

1982年 東京歯科大学卒業
1986年 東京歯科大学大学院修了(口腔衛生学専攻)
1986年 東京歯科大学口腔衛生学講座助手
1987年 東京歯科大学口腔衛生学講座講師
1995年 立川市歯科医師会理事
2015年 東京都歯科医師会公衆衛生担当理事
2019年 日本歯科医師会常務理事

【主な著書(分担執筆)】――

「産業歯科保健の現状と課題」
「地域包括ケアシステムのなかの歯科診療」
「生活習慣病予防を考えたかかりつけ歯科医との上手な付き合い方」

日本歯科医師会雑誌 2022年
松風カラーアトラス 2022年
8020推進財団会 2023年

山本 秀樹
(やまもとひでき)

日本歯科医師会の立場から

日本社会の子どもを取り巻く環境は厳しさを増してきている。少子化は止まらず、新生児数は既に70万人を下回っている。今後の日本社会の繁栄を左右する少子化問題は喫緊の課題となっている。

さて、近年では核家族化、女性の社会進出が一段と進み、子育て環境も家庭中心から保育所等を含めた地域社会全体に移行し、その環境整備が重要性を増している。また、日本社会の貧困やステップファミリーの増加に伴い、幼児虐待件数は増加傾向となっている。外国籍の家族も増加し、文化・宗教等の違いから日本社会に溶け込みにくい子どもたちの居場所やいじめ等も問題となっている。さらに、従来の学校教育に馴染めず、フリースクールに在籍する子ども達も増加してきている。何らかの発達障害を抱えた子どもや医療的ケア児も増えてきている。

このような現代の子ども達を取り巻く様々な課題に対して、日本歯科医師会では歯科口腔保健の視点から厚生労働省、こども家庭庁、文部科学省への制度予算を国に要望するとともに、対応策を模索している。

(Yamamoto Hideki)

(キリトリ線)





夫馬 吉啓
(ふま よしひろ)

【経歴】

2007年 東京歯科大学卒業
2007年 東京女子医科大学病院歯科口腔外科 医局員
2012年 グリーンデンタル夫馬 副院長
2016年 愛知県歯科医師会 地域保健部（I）部員
2021年 グリーンデンタル夫馬 総合歯科・口腔機能クリニック 院長
日本学校歯科医会 広報委員会 委員
2023年 日本学校歯科医会 学術委員会第一 委員
2025年 日本学校歯科医会 外部理事
愛知県歯科医師会 学校歯科保健部次長

【主な著書（分担執筆・論文）】

「幼児期の生活習慣が口腔機能に与える影響」,
「歯科と睡眠」（共著）,
「知っていますか？小児の睡眠障害～歯科の役割を考える～」,

日本学校歯科医会会誌131号, 2022.
デンタルダイヤモンド社, 2024.
the Quintessence vol.44, 2025.

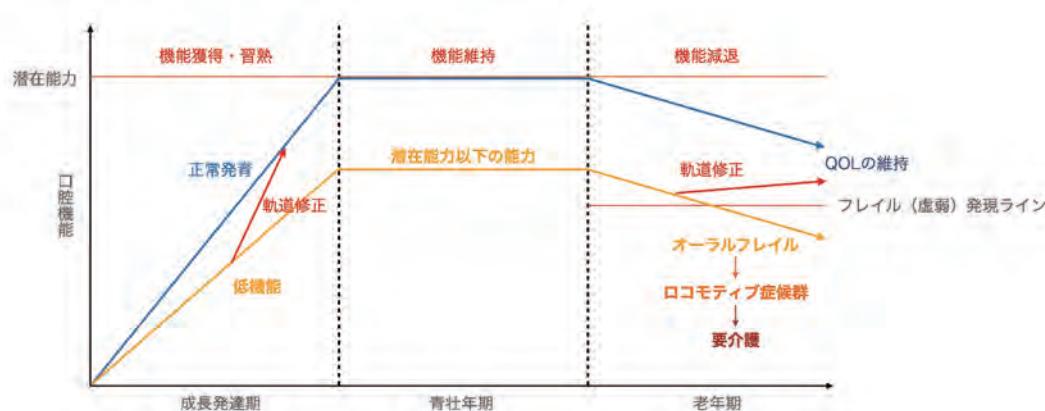
日本学校歯科医会の立場から

少子高齢化が進み生産年齢人口が減少している日本において、将来日本を支えるべき子ども達の成長発達を一人でも多く健全なものにすることは日本の行末を考える上で重要な課題であり、全国民が自分事として考えるべきものである。その課題に取り組むためにも、現在の子ども達はどんな問題を抱えているのか、そしてその問題に対して現時点で国や行政がどういった対応をしているのかを知ることは、課題や問題を自分事として捉える第一歩であると考える。

現在、日本学校歯科医会では学校歯科健診の精度統一化やICT化をはじめ、口腔機能発達不全症にも対応した歯科保健教育を充実させ、歯科疾患や口腔機能発達不全の早期スクリーニングを行うべく多くの取り組みを行っている。それらの取り組みを紹介させていただき、こども家庭庁や文部科学省、厚生労働省や日本歯科医師会などと協力して、歯科界として子ども達のため、ひいては国益のために、どういった取り組みが学校歯科の分野でも協力してできるのかを共に考えたい。

(Fuma Yoshihiro)

（キリスト線）



老年期にQOL（生活の質）を維持するためには

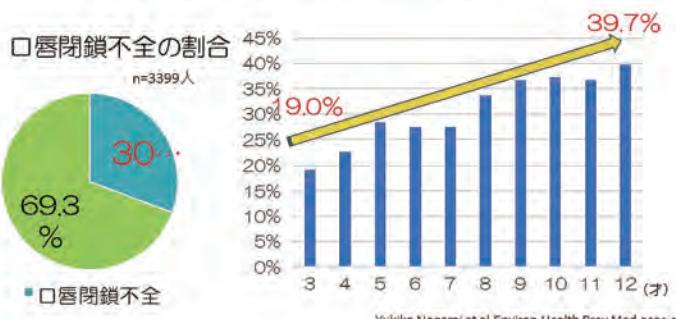
老年期にフレイル（虚弱）を発現する前に軌道修正させることも大切だが、

逆算して考え、成長発達期である小児期の間に正常発育を達成させるか、

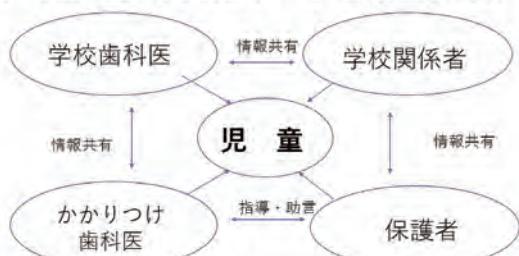
低機能の状態を軌道修正させるかが鍵になる。

<木本茂成、小児医療従事者として知っておきたい小児歯科のトピックス：小児保健研究、第77巻第2号90-97、2018より改変>

子どもの口唇閉鎖不全（お口ばかん）の有病率



学校歯科医の果たすべき役割（連携）



学校歯科医は、学校歯科健診で得られた情報とかかりつけ歯科医と情報を共有することで口腔機能障害不全症の検査、診断、治療に寄与することができます。

これまで学んできたこと、これから伝えたいこと

～世代を超えて、語り合う歯科の現在と未来～

本講演会は、世代の異なる8名の歯科医師がそれぞれの経験から「これまでの学び」と「これからの歯科医療への想い」を語る場です。ベテランが語る臨床の原点、中堅が抱えるリアルな課題、若手が見据える未来——それぞれの本音と実感を共有し、参加者が世代を越えて学び合える機会とします。「技術」や「知識」だけでなく、「姿勢」や「価値観」にも触れながら、これからの歯科医療をともに考える時間を提供します。

本講演はTDC卒後研修セミナー 50周年記念講演となります。我々学術委員会の哲学とも言える生涯学習・生涯研修について、講師の先生方の想いをぜひお聞きいただき、これからの歯科医師人生のお役に立てていただければ幸いです。

講 師：山本 雅通 先生（東京都開業 平成6年卒） 学術担当常任理事
 荻原 俊美 先生（神奈川県勤務 昭和58年卒） 学術委員長
 梅原 一浩 先生（青森県開業 昭和63年卒）
 田中 五郎 先生（神奈川県在住 昭和63年卒）
 片山 明彦 先生（東京都開業 平成11年卒）
 錦織 淳 先生（東京都開業 平成11年卒）
 飯田 雄大 先生（岡山県開業 平成25年卒）
 杉田 大 先生（千葉県開業 平成25年卒）

日 時：11月3日(火 祝日) 12:00～17:10 (懇親会17:30開始予定)
場 所：ハイブリッド開催 対面参加 東京歯科大学 水道橋校舎新館11階
 Web参加 zoomウェビナー

定 員：対面100名 Web100名

受 講 料：無料

懇 親 会：同窓生 平成29年3月卒業以降無料
 事前申込3千円 当日参加5千円
 他大学 5千円

講演内容：

- ・卒後研修設立から時代の移り変わりと変化、未来へ
- ・臨床40年、いま思う“本当に大切なこと”(ベテラン歯科医師)
- ・拡大する選択肢の中で、“判断”を磨く日々(中堅歯科医師)
- ・“理想と現実”の中で模索する、私の歯科医療(若手歯科医師)
- ・生涯学習と生涯研修について(ディスカッション)

※同窓会HP (<https://tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

50周年記念講演 参加方法		<input type="checkbox"/> 対面参加 • <input type="checkbox"/> Web 参加	チェックをお入れください
ふりがな	出身校 (大学)		
ご 氏 名	(年卒)		
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)		
住 所	〒		
TEL	FAX		
必須 E-mail			
ご勤務先名			
懇親会 出席 欠席 (空きがあれば当日参加も可能です)			



山本 雅通
(やまもと まさみち)



荻原 俊美
(おぎわら としみ)

TDC卒後研修セミナー 50周年記念講演に寄せて

東京歯科大学同窓会学術委員会は設立50周年という大きな節目を迎えました。このように長い歴史を刻むことができたのは、「生涯学習・生涯研修」という理念を掲げ、仲間と共に学ぶことのできる場を作り、守り続けてこられた先輩方のおかげです。心からの感謝を申し上げます。

歯科医療はこの半世紀で大きく進歩しました。デジタル技術の導入や科学的根拠に基づいた治療の発展など、私たちをとりまく臨床の景色は大きく変わっています。一方で、臨床の原点を見つめ直す姿勢、仲間とともに学び合い、後進に伝えていく精神は変わることなく受け継がれています。変化すべきものと守り続けるべきもの、その両輪があつたからこそ、私たちはここまで歩みを続けることができました。

本講演会では、世代の異なる先生方が「これまで学んできたこと」と「これから伝えたいこと」を語り合います。そこには経験に裏打ちされた言葉、日々の臨床での気づき、そして未来を担う若手の想いが詰まっています。受講される皆様には、先人の歩みを知り、同世代の課題を共有し、後進の熱意に触れることで、自らの歯科医師人生に新たな視点を加えていただければ幸いです。本フォーラムが、世代を超えて学びを継承し、未来へつなぐ第一歩となることを願っております。

(Yamamoto Masamichi)



梅原 一浩
(うめはら かずひろ)

【経歴】

1988年 東京歯科大学卒業
1993年 東京歯科大学大学院歯科補綴学終了（歯学博士受領）
1993年~1994年 米国ペンシルベニア大学歯周補綴科留学
1994年~ 青森県弘前市 医療法人審美会 梅原歯科医院 勤務
1995年~2000年 東京歯科大学第二専修科（歯科保存学第2講座）
2002年~ 弘前大学医学部歯科口腔外科学講座 研修登録医
2002年~ 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 非常勤講師
2014年~ 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室 非常勤講師
2015年~ 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座 非常勤講師
2019年~ 医療法人審美会 梅原歯科医院 理事長

【所属団体 認定資格 役職】

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座
慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室
岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座
日本口腔インプラント学会指導医、専門医
日本補綴歯科学会指導医、専門医
日本歯周病学会専門医
ITI フェロー
日本口腔インプラント学会認定臨床研修施設
青森インプラント研究会施設長

【主な著書（分担執筆）】

歯科医院におけるRiskHedge
顎運動測定器とCADソフトウェアを用いた咀嚼運動と咬合接触点推移の3D表示
審美歯科のためのデジタル機能解析
デジタルでここまでできる咬合診査・治療。
Implant Aesthetics Keysto Diagnosisand Treatment
若年者の上頸前歯部におけるインプラント治療後20年間経過観察した1例
補綴領域におけるCBCTの応用
顎運動測定装置を活用した臨床の現在と将来

歯界展望	2014年
日本補綴歯科学会誌	2016年
歯科審美	2016年
日本歯科評論	2017年
SPRINGER	2017年
日本口腔インプラント学会誌	2018年
歯科放射線	2020年
日本歯科医師会雑誌	2021年



田中 五郎
(たなか いつろう)

【経歴】

1963年 神奈川県生まれ
1988年 東京歯科大学卒業
加藤歯科医院（加藤武彦院長）勤務
横浜市立市民病院口腔外科（河内四郎部長）にて研修
1990年 田中歯科医院勤務
1992年 田中歯科医院院長
2023年末 田中歯科医院閉院 現在フリー

【所属団体 認定資格 役職】

全国訪問歯科研究会（加藤塾）会員
総義歯臨床研究会「車座」会員
DSM（デンタル・スタッフ・ミーティング）会員

【主な著書・執筆】

在宅診療における義歯のメンテナンス、デンタルダイヤモンド、Vol28No12：40-45；デンタルダイヤモンド社、東京、2003.
改造義歯を利用した咬合採得法、デンタルダイヤモンド増刊号 補綴を健康にする80のいろいろ；デンタルダイヤモンド、Vol28 No10：100-101、デンタルダイヤモンド社、東京、2003.
旧義齒改造法を用いた総義歯の製作、歯科医療、Vol18 No2：37-46、第一歯科出版、東京、2004.
治療用義歯改造のポイントは？、デンタルフロントイQA、No31：53-54、デンタルダイヤモンド社、東京、2005.
総義歯には機能にマッチした形がある今求められている総義歯設計；デンタルダイヤモンド、Vol31、No450：24-25、デンタルダイヤモンド社、東京2006.
実践総義歯合理的な総義歯調整法、歯科学報、Vol107 No4：375-378、東京歯科大学、東京、2007.
デンチャースペースにマッチした義歯床外形設定と人工歯配列の実際、歯科技工、Vol35 No4：453-463、医歯薬出版、東京、2007.
総義歯実習研修会での実習ポイント、デンタルダイヤモンド、Vol32 No15：30-37、デンタルダイヤモンド社、東京、2007.
義歯の疼痛と対応について教えてください、日常臨床のテクニックQ&A、デンタルダイヤモンド増刊号、Vol32 No5：104-105、デンタルダイヤモンド社、東京、2007.
上顎義歯の安定に苦労した症例、デンタルダイヤモンド増刊号 私のPD臨床、Vol32 No10：74-81、デンタルダイヤモンド社、東京、2007.
顆堤吸収の著しい総義歯にどう向き合うか-筋圧中立帶理論によるデンチャースペース義歯-、デンタルダイヤモンド、Vol33、No476：22-31、デンタルダイヤモンド社、東京、2008.
特集長寿社会における“義歯とインプラントの共存”を考える：デンタルダイヤモンド、590；デンタルダイヤモンド社、東京、2015
デンチャースペース義歯：デンタルダイヤモンド社、東京、2016
デンチャースペース義歯の作り方、食べる喜びを支える歯科医療のためのデンチャースペース義歯 加藤武彦監修：90-111、デンタルダイヤモンド社、東京、2018
超高齢社会におけるオーラルフレイル予防に寄与する義歯治療：デンタルエコー、vol196：34-42、松風歯科クラブ、京都、2019

総義歯で「食べられる口づくり」-口腔機能に衰えがみられる高齢者の治療計画、デンタルダイヤモンド、vol44, No7 : 47-57, デンタルダイヤモンド社、東京、2019
 唾液による健康づくり：下野正基、奥田克爾：ヒヨーロン
 食べられる口づくり口腔ケア&義歯：加藤武彦、黒岩恭子、田中五郎編集：医歯薬出版
 介護の基本を押さえよう：田中歯科医院：歯科衛生士vol38March：クインテッセンス出版、東京、2014



片山 明彦
(かたやま あきひこ)

【経歴】

- 1999年 東京歯科大学卒業
- 1999年 慶應義塾大学病院医学部歯科口腔外科学教室入局
- 2001年 東京歯科大学歯周病学講座大学院入学
- 2005年 東京歯科大学歯周病学講座 助教
- 2007年 稲毛デンタルクリニック開業
神田デンタルクリニック開業
- 慶應大学医学部歯科口腔外科学教室 非常勤講師
- 2008年 医療法人社団明佳会理事長就任
- 2012年 有楽町デンタルオフィス開業（神田デンタルクリニック移転）
- 2013年 東京歯科大学歯周病学講座 非常勤講師
- 2015年 東京歯科大学水道橋病院 臨床講師
- 2021年 東京歯科大学水道橋病院 臨床准教授

【所属団体・資格】

- 日本歯周病学会指導医歯周病専門医 評議員
- 日本臨床歯周病学会 指導医
- 認定医歯周インプラント認定医
- 厚生労働省 歯科医師臨床研修指導医
- 5-DJapanペリオ・インプラントコース 講師
- 5-DJapan Follow-up Study Tokyo 副会長
- 日本口腔インプラント学会
- 青森インプラント研究会理事
- ヨーロッパ審美歯科学会 (European Academy of Esthetic Dentistry) 認定医
- 米国歯周病学会 (American Academy of Periodontology) 会員
- 株式会社GC公認インストラクター

【著書】

- ・5-Dコンセンサス「歯の保存にこだわる」 クインテッセンス出版株式会社 2025年(著分担)
- ・歯周組織再生療法&根面被覆 クインテッセンス出版株式会社 2023年(著分担)
- ・FlapstabilityとSofttissuepreservationからみた歯周・インプラント治療における再生療法 クインテッセンス出版株式会社 2022年(著分担)
- ・はじめてのフラップ手術 医歯薬出版株式会社 2019年(著分担)
- ・失敗しない歯周組織再生療法 医歯薬出版株式会社 2019年(著分担)



錦織 淳
(にしごおり あつし)

【経歴】

- 1999年3月 東京歯科大学卒業
- 1999年4月 藤本歯科医院勤務
- 2005年4月 ドイデンタルクリニック勤務
- 2007年4月 神田デンタルクリニック勤務
- 2009年7月 インディアナ大学補綴科大学院入学
- 2012年6月 インディアナ大学補綴科大学院卒業
- 2013年2月 有楽町デンタルオフィス勤務
- 2015年7月 錦織歯科医院開設

【所属団体・認定資格 役職】

- インディアナ大学補綴科大学院修士号
- 米国補綴専門医

【主な著書】

- ・『クラウンブリッジの臨床原著第5版』(訳) 医歯薬出版株式会社
- ・『藤本研修会StandardTextbook2Occlusion&Prosthodontics』 デンタルダイヤモンド社(共著)
- ・『THINK-SCIENTIFIC TOOTH PREPARATION 頭で削る支台歯形成-』 医歯薬出版株式会社(監著)
- ・『エンド処置歯の支台築造・歯冠修復』(歯界展望別冊・共著) 医歯薬出版株式会社



飯田 雄太
(いいだ ゆうた)

【経歴】

- 2013年 東京歯科大学卒業 同校水道橋病院 臨床研修
- 2014年 埼玉県 医療法人D&Hかめだ歯科医院勤務
- 2021年 岡山県 飯田歯科本院勤務
- 2024年 飯田歯科本院 院長

【所属団体・認定資格 役職】

- 有床義歯学会 (JPDA) 認定医・理事
- 日本顎咬合学会
- 日本補綴歯科学会
- TMSIコース講師 (パーシャルデンチャー)
- モリタデジタルデンチャーインストラクター
- KULZERKOL
- てんとう虫スタディーグループ
- Summit-G
- Backtobasics (BTB)

【著書】

- ・2019デンタルダイヤモンド パーシャルデンチャーにおけるオルタードキャスト法を再考する(共著)
- ・2022デンタルダイヤモンド増刊 パーシャルデンチャーのレベルアップトレーニング(共著)
- ・2022ヒヨーロン特集 「上減の歯列」を考慮した戦略的補綴設計(共著)
- ・2023デンタルダイヤモンド デジタル×アナログが創る 総義歯製作の未来
- ・2024クインテッセンス出版QDT別冊 いちから始める！目で見てわかる！下顎吸着総義歯(共著)



杉田 大
(すぎた ひろし)

【経歴】

- 2013年 東京歯科大学卒業 同校水道橋病院臨床研修
- 2017年 大月デンタルケア 勤務
- 2018年 (株) Doctorbook マネージャー Doctorbookacademy責任者
- 2022年 杉田歯科医院承継 ウィステリアデンタルケア開業

【所属団体・認定資格 役職】

- 日本小児口腔発達学会
- 日本保育歯科協会
- 保育士国家資格
- 食育インストラクター
- キッズコーチ
- 口育士 口栄士 輸育士
- 歯想会 会長

【著書】

- 口腔内スキャナーで激変するイマドキの予防歯科

デンタルダイヤモンド 2025年5月

卒後研修 臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

臨床セミナー すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

医療教養 若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

卒後研修

TDC卒後研修俱楽部

2026年9/14(月) 11/9(月) 19:00 ~

卒研症例検討会

偶数月第2月曜日 20:00 ~ *10月は祭日のため第3月曜日開催

デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 20:00 ~

臨床セミナー

7月 5日(日) 口腔外科セミナー

「明日から活かせる！日常臨床における小手術の実践（VR体験）とポイント」
～確実な術式とトラブル回避のための臨床ノウハウ～

講 師：渡邊 章（口腔顎顔面外科学講座）
菅原 圭亮（口腔病態外科学講座）

8月30日(日) ベーシックハンズオンセミナー 2日間コース

9月 6日(日) 「すぐに役立つ臨床のコツ」
～実践スキルの向上補綴、ペリオ、エンド、口腔外科、矯正編～
講 師：学術委員（東京歯科大学同窓会）

医療教養

10月25日(日) 医療教養フォーラム

「歯科が支える子どもの未来」
～将来を担う子どもたちに歯科界は何ができるのか～
講 師：石丸 文至（こども家庭庁成育局母子保健課推進官）
山本 秀樹（日本歯科医師会常務理事 東京都開業）
夫馬 吉啓（日本学校歯科医会理事 愛知県開業）

50周年記念講演

11月3日(火 祝日) TDC卒後研修セミナー 50周年記念講演

これまで学んできたこと、これから伝えたいこと
～世代を超えて、語り合う歯科の現在と未来～



状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。
今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。

会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎新館
- 東京歯科大学水道橋校舎別棟7階
- JR『水道橋駅』東口下車(御茶ノ水寄り出口)



受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。

所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。

FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)

<https://tdc-alumni.jp>

*渉外委員会フォーラムはQRコードからの申し込みを持って受付完了とし、案内文章・振り込み用紙などの郵送は致しませんのでご注意ください。

必要記載事項

- ① 氏名・ふりがな
- ② ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
- ③ Eメールアドレス
- ④ 職種 歯科医師(出身大学・卒業年度)、臨床研修歯科医(出身大学)
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他

* もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

申し込み時の注意事項について

- 受付は先着順とし、お申し込み受付後、案内文書・振込用紙(郵便局用)をお送りいたします。
- 振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- 受講料は消費税込みとなっております。
- 入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票(対面受講者のみ)および受講案内をお送りいたします。
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- 入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- 入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
(ご欠席なさる場合は、代理の出席が可能です。)
但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- 本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定しております。研修登録用ICカードをお持ちください。

* 東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにともなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。



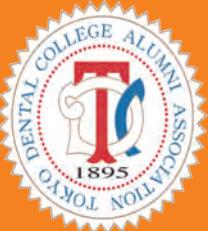
セミナーお申し込みはこちらから

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18 TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859
東京歯科大学同窓会事務局 URL <https://tdc-alumni.jp>

*毎週土曜日・日曜日・祝日はお休みです。

電話での対応は平日9:30~17:30とさせていただきます。



TOKYO DENTAL COLLEGE ALUMNI ASSOCIATION

渉外委員会フォーラム

東京歯科大学同窓会

*本フォーラムは、東京歯科大学同窓会会員限定となっております。

【申込み時の注意事項】

- ・渉外委員会フォーラムはQRコードのみの申し込みです。
- ・QRコードからの申し込みを持って受付完了とし、案内文章・振り込み用紙などの郵送はいたしませんのでご注意ください。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。

*東京歯科大学同窓会は、本フォーラムの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本フォーラムの運営および、それにともなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18 TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859
東京歯科大学同窓会事務局 URL <https://tdc-alumni.jp>

※毎週土曜日・日曜日・祝日はお休みです。

電話での対応は平日9:30～17:30とさせていただきます。

東京歯科大学同窓会 涉外委員会フォーラム

次世代の歯科医師へ

ー人生と共にある歯科医療ー

東京歯科大学同窓会 会員限定

5.27 水 19:30~ Web開催

参加費
無料

演者

東京歯科大学社会歯科学講座

平田 創一郎 教授

略歴

1995年 大阪大学歯学部卒業 歯科医師免許取得

1999年 大阪大学大学院歯学研究科修了

博士（歯学）取得

大阪大学歯学部附属病医院

顎口腔機能治療部 医員

2002年 厚生労働省医政局歯科保健課

歯科医師臨床研修専門官

2006年 東京歯科大学社会歯科学研究室 講師

2010年 東京歯科大学社会歯科学研究室 准教授
東京歯科大学 教務副部長（現職）

2013年 東京歯科大学社会歯科学研究室 教授

2015年 東京歯科大学社会歯科学講座（講座名変更）
教授（現職）

2024年 東京歯科大学水道橋病院
副病院長（臨床研修担当）（現職）

現職

- ・社会歯科学会 常任理事
- ・一般社団法人日本歯科医学教育学会 常務理事
- ・一般社団法人日本歯科医療管理学会 常務理事
- ・東京都歯科保健対策推進協議会 委員
- ・船橋市歯・口腔の健康推進協議会 座長
- ・多摩市みんなの笑顔が広がる
歯と口の健康を推進する条例推進会議 会長
- ・港区歯科保健事業推進協議会 委員
- ・市原市歯と口腔の健康づくり推進会議 委員
- ・東京都歯科医師会地域保健医療常任委員会 委員
- ・愛知県歯科医師会総合研究機構 外部委員

状況によりフォーラムの内容を一部変更することがございます。予めご了承ください。

また、本フォーラムは東京歯科大学同窓会会員限定となっております。



お問い合わせ先

東京歯科大学同窓会
事務局：03-6261-6631

お申込みは
こちらから





涉外委員会フォーラム 「次世代の歯科医師へ」

～人生と共にある歯科医療～

本フォーラムは東京歯科大学同窓会会員のみ参加可能です

わが国の社会は大きな転換期に突入している。高齢化・少子化といった人口動態の変化、地方都市の急激な人口減少とそれに伴う人口密度の低下、障害を有する人々の増加という社会的課題は、歯科医療にも深刻な影響を及ぼしている。さらに、ICTの進展と医療DXは急速に浸透しつつある。一方で、歯科医師国家試験の合格者数制限は、歯科医師人口構成に著しい不均衡を生み出している。これらの要因が重なった結果、いま歯科医療を提供し、あるいは歯科医学教育を担っている歯科医師たちが受けてきた教育と、実際に直面する社会情勢との間には大きな乖離が生じている。

口腔保健の現状もかつてとは異なる様相を呈している。小児のう蝕発症率は大幅に減少、高齢者の歯の喪失は減少したものの歯周病は増加、また寿命の延伸に伴う口腔機能低下や小児期の口腔機能発達不全といった新たな課題が浮上している。これらはすべて「従来型の歯科医療提供体制」では対応しきれないことを示唆するものであり、過去に先人が開業したモデルが通用しなくなった理由の一端である。

このような背景下で、人口が集中する都会型の自費中心の経営モデル、ハイリスク・ハイリターン戦略を否定する必要はない。むしろ、経営的観点からは有効な手法かもしれない。しかしながら、歯科医師という国家資格が担う「国民の健康と公衆衛生の守護者」という本質的使命は忘れてはならない。すべての国民が等しく歯科保健・医療を享受できる社会を目指さなければならぬ。日本歯科医学会はこの点を踏まえ、「地域支援型多機能歯科医療機関」の構想を提唱している。すべての歯科医師がかかりつけ歯科医となるのではなく、広域化・高齢化・障害者対応といった複合的なニーズに応えるためには、後方支援体制が確立されるべきと考える。当然、ICTという道具を使いこなすことは必須となる。

このような多機能かつ地域密着型の歯科医療提供体制を構築することは、時代に即した経営形態である。次世代の歯科医師には、従来の枠組みを超えた柔軟性と協働姿勢が求められる。そのような取組を推進するためには、歯科医師会や同窓会といった同業者集団が舵を取り、多くの歯科医師が協力する必要がある。本講演が次世代の歯科医師による未来志向の歯科医療制度改革への一助となることを期待している。



お問い合わせ先

東京歯科大学同窓会
事務局：03-6261-6631

お申込みは
こちらから



×

